

数学授業の3つの転換

未知のことにも、学び得た知識・技能を働かせ、
思考力・判断力・表現力等を駆使し、
主体的に解決を図ろうとする力の育成

1 「問題解決の過程を通じた資質・能力の育成」への転換

- ◇ 「算数・数学の学習過程のイメージ」の資質・能力を位置づけた授業構築

2 「すべての生徒の問題解決の過程を支え、解決を促す指導」への転換

- ◇ 生徒の情意「？」と「！」への働きかけ
- ◇ 生徒とともに目標(資質・能力)の達成を目指すための意図的な指導
- ◇ 生徒が学習の見通しをもち、学習の調整を図るためのめあてや目標、振り返り
- ◇ 生徒の思考の流れにおけるつまずき等を生かす展開
- ◇ 生徒の思考や態度の変容を促す発問
- ◇ 生徒の思考や態度の想定と想定に対する手当て
- ◇ 資質・能力と、問題解決の過程の視点からの教材の見直し
- ◇ 生徒が学習の深化や、意欲の向上を図る解決過程を振り返る学習の充実

3 「資質・能力を育成するための授業マネジメント」への転換

- ◇ 資質・能力を育成する単元計画
- ◇ 学習評価(見取り)の充実